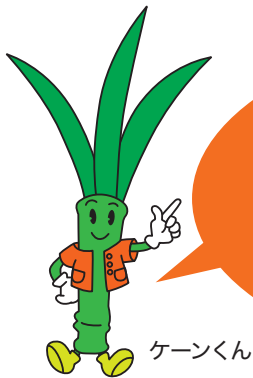


農林28号 Ni28

株出し2～3回の多回株出しにおいて多収

- 萌芽性、分けつ性に優れ、F161よりも収量性が高いです。
- 登熟が早く早期収穫も可能となり、F161より風折抵抗性、耐倒伏性、黒穂病抵抗性に優れている他、品質の保持力も高い品種として頼りになるでしょう。



農林28号(Ni28)は、
平成22年に
沖縄県南大東島向けの
奨励品種に採用されました。

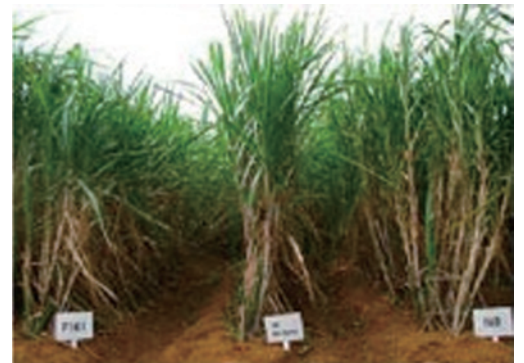
■主要な生態的特性

	発芽性	分けつ性	萌芽性	初期伸長性	出穂性	風折抵抗性	耐倒伏性	脱葉性
Ni28	中	やや強	良	中	中	強	やや強	やや難
F161	やや良	中	やや良	中	極少	やや強	弱	易
Ni9	中	強	良	良	多	強	やや強	難
NCo310	中	中	中	中	多	強	中	難

■病害虫抵抗性

	黒穂病	さび病	葉焼病	メイチュウ抵抗性
Ni28	極強	やや弱	やや強	中
F161	強	強	中	中
Ni9	弱	やや弱	中	中
NCo310	極弱	弱	中	中

NCo310はさとうきび審査基準に記載された標準品種の1つで品種登録の際に使用します。



左: F161

中央: Ni28

右: Ni9

栽培上のワンポイント

- 春植えでは収量が低い傾向にあるので、植え溝あたりの植え付け苗数を3割程度増やして密植しましょう。



協力：沖縄県農業研究センター（独）農研機構九州沖縄農業研究センター